

第1日目 (11月3日(金))

第1会場 (釧路市観光国際交流センター 大ホール)

13:00～13:15

会長、ご来賓挨拶

13:15～14:15

特別講演 1

座長 森田 研 (市立釧路総合病院)

「災害時における航空医療」

▶成松 英智 (札幌医科大学)

14:30～15:30

シンポジウム 1 / 固定翼機による航空医療の今後について

座長 荻野 隆光 (倉敷中央病院)
奈良 理 (手稲溪仁会病院)

SY1-1 固定翼機による航空医療の今後について

▶福罵 教偉 (千里金蘭大学)

SY1-2 航空医療における固定翼機の現状と課題そして展望～島嶼エリアの視点から～

▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

SY1-3 メディカルウィングによる航空機医療搬送の現状と課題

▶上村 修二 (札幌医科大学救急医学講座)

SY1-4 レオナルド AW609 ティルトローター・新たな挑戦

▶面高真理男 (レオナルドヘリコプターズ)

15:40～16:40

シンポジウム 2 / パンデミックについて

座長 高山 隼人 (長崎大学)

SY2-1 新興感染症 Pandemic 時における航空医療の現状と課題～島嶼県おきなわの経験から～

▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

SY2-2 COVID-19 患者の ECMO 下ヘリコプター搬送

▶岩瀬 信哉 (君津中央病院救命救急センター 救急・集中治療科)

SY2-3 COVID-19 パンデミックはドクターヘリの時間延長と件数減少をもたらした

▶近藤 英史 (八戸市立市民病院救命救急センター)

SY2-4 パンデミックについて

▶石井 安彦 (北海道釧路保健所)

第1日目 (11月3日(金))

第2会場 (ANA クラウンプラザホテル 2階 芙蓉の間)

13:30～14:30

委員会報告

14:30～15:30

一般演題1 / 教育：スタッフの育成

座長 松山裕美子 (市立函館病院)

- 01-1 ウェアラブルカメラを使用したフライトナースの相互教育の効果
▶藤川 周平 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)
- 01-2 現場活動動画を使用した指導者フライトナースの課題の抽出
▶坂上 由佳 (社会医療法人 緑泉会 米盛病院 看護部)
- 01-3 フライトナース OJT 教育の現状と課題
▶青木 梨江 (熊本赤十字病院)
- 01-4 A 病院におけるフライトナース教育課程の再検討
▶坂下 亮 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院)
- 01-5 ラダーに基づいた継続評価指標作成に向けての取り組み
▶石井 智美 (川崎医科大学附属病院)
- 01-6 ドクターヘリ研修委員会の取り組み：新基礎コースの効果と展望
▶大森 一彦 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

15:40～16:30

一般演題4 / 連携：多機関・他職種

座長 小林 巖 (旭川赤十字病院 救命救急センター)

- 04-1 救急救命士へのドクターヘリ活動要領の伝達について
▶岡本 博之 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)
- 04-2 現場主導で実施した日米合同訓練 ～日米相互連携強化に向けて～
▶友利 笑佳 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター外来)
- 04-3 道北ドクターヘリフライトナース会での消防機関との合同事例検討
▶山下 亜子 (旭川赤十字病院 救命救急センター SCU)
- 04-4 病院前救急医療の多機関連携：フライトドクターの役割
▶宍戸 肇 (香川大学医学部附属病院救命救急センター)
- 04-5 ドクターヘリにおける救急救命士の活動について
▶安齋 勝人 (埼玉医科大学総合医療センター 救急科 (ER))

17:00～18:00

イブニングセミナー1

「アイヌの踊りと歴史・文化の紹介」

- ▶西田 正男 (阿寒アイヌ工芸協同組合 代表理事)

第1日目 (11月3日(金))

第3会場 (ANA クラウンプラザホテル 3階 万葉の間)

14:30 ~ 15:30

一般演題2 / システム・体制・その他1

座長 寺田 拡文 (市立釧路総合病院)

02-1 第2種 救急自動通報 (D-Call Net) 試験運用の進捗

▶ 本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

02-2 新潟県における救助ヘリによる基地病院への直接搬送体制の構築

▶ 出内 主基 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)

02-3 重症外傷症例にいち早く駆けつけるための現行体制への提言

▶ 中本 和真 (済生会滋賀県病院 救命救急センター・救急集中治療科)

02-4 消防防災ヘリによる重症小児搬送チームの Doctor Delivery

▶ 石川祥一朗 (あいち小児保健医療総合センター 救急科)

02-5 キーワード方式によるドクターヘリ活動の分析

▶ 柳川 洋一 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

02-6 痙攣患者への JSAS-R のキーワードに基づいたドクターヘリ派遣

▶ 河合 健司 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

15:40 ~ 16:40

一般演題5 / システム・体制・その他2

座長 奈良 理 (手稲深仁会病院)

05-1 イギリスとドイツの HEMS の現状と日本のドクターヘリの可能性

▶ 大森 一彦 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

05-2 道北ドクターヘリにおける輸血用製剤の活用に向けた検討

▶ 橋詰 勇祐 (旭川赤十字病院 救急科)

05-3 災害時におけるドクターヘリ参集及び運用の在り方に関する検討

▶ 中道 親昭 (国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター)

05-4 ドクターヘリに対する医学生の興味と教育課程の現状

▶ 竹内 慎哉 (高知大学医学部 災害・救急医療学講座)

05-5 適正なドクターヘリ要請のための取り組み

▶ 越後 整 (生会滋賀県病院 救命救急センター・救急集中治療科)

05-6 基地病院スタッフは重複要請に対するマルチタスク能力が必要

▶ 杉村 朋子 (高知医療センター救命救急センター)

17:00 ~ 18:00

イブニングセミナー2

「VUCA の時代における持続可能な社会の創り手の育成」

▶ 古川 和 (独立行政法人国立青少年教育振興機構)

第1日目 (11月3日(金))

第4会場 (ANA クラウンプラザホテル 3階 万葉の間)

14:30～15:30

一般演題3 / 災害・その他

座長 未定

- 03-1 落雷により発生した多数傷病に対する活動報告
▶村井江都子 (徳島県立中央病院)
- 03-2 線状降水帯などの大雨に備えた洪水対策について
▶村田 政雄 (セントラルヘリコプターサービス株式会社)
- 03-3 令和5年奥能登地震における石川県ドクターヘリの対応
▶蜂谷 聡明 (石川県立中央病院救急科)
- 03-4 広域災害時のドクターヘリ運用 ～ DMAT 実働訓練の経験から～
▶南 啓介 (石川県立中央病院救命救急センター)
- 03-5 災害時におけるドクターヘリ本部訓練の取り組み
▶野矢 忠男 (済生会滋賀県病院 救急外来)
- 03-6 CPA に対するホイスト救助中の継続的な蘇生処置について
▶重松 宏樹 (佐賀県防災航空センター)

15:40～16:40

一般演題6 / 現場活動：看護・その他

座長 鼠尾 弘恵 (川崎医科大学附属病院)

- 06-1 離島 CPA 症例に対して現地病院実習中の救命士と協同した一例
▶花山 昌浩 (川崎医科大学附属病院)
- 06-2 J ターン搬送時の現場と搬送後の家族との関わり
▶豊田 貴裕 (社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 水戸済生会総合病院)
- 06-3 空気銃による外傷事例での危険予測に対する考察
▶沼田 和也 (市立釧路総合病院 救急外来)
- 06-4 ドクターヘリ現場活動の質を高めるための墜落外傷症例の分析
▶安藤 友美 (久留米大学病院)
- 06-5 道東ドクターヘリにおけるヒグマ外傷で要請のあった8件の検討
▶寺田 拓文 (市立釧路総合病院)
- 06-6 大雪山系旭岳でのバックカントリーで生じた外傷傷病者救助1事案
▶谷口 圭祐 (北海道防災航空隊)

17:00～18:00

イブニングセミナー3

「私の野球人生 ～野村、長嶋、星野監督に学んだこと～」

- ▶広澤 克実 (野球解説者/スポーツコメンテーター)

第1日目 (11月3日(金))

デジタルポスター会場

16:00～17:00

デジタルポスター発表／連携、教育／フライトナース・消防・防災ヘリ・自衛隊

進行役 伊藤 耕栄 (釧路孝仁会記念病院)
古川 研治 (釧路孝仁会記念病院)

- DP1-1** 段階的 Off-JT・OJT がもたらすフライトナース教育の成果
▶ 結城千恵美 (国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)
- DP1-2** 段階的 Off-JT を導入したフライトナースの養成と今後の課題
▶ 柴崎 雅也 (国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)
- DP1-3** 演題取り下げ
- DP1-4** ドクターヘリおよび消防との位置情報共有システムの構築
▶ 小守林靖一 (岩手医科大学岩手県高度救命救急センター)
- DP1-5** 静岡県東部ドクターヘリにおける墜落分娩の分析
▶ 大坂 裕通 (順天堂大学医学部附属静岡病院 静岡県東部ドクターヘリ)
- DP2-1** 香川県ドクターヘリ活動報告～当院フライトナースの1年～
▶ 國方 美佐 (香川大学医学部附属病院 救命救急センター)
- DP2-2** 地震災害発生時ドクターヘリを守る初期活動システムの構築
▶ 笹原 孝一 (社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院)
- DP2-3** 防災ヘリ搭乗の航空救命士が救急救命処置を実施した症例報告
▶ 別本 雅治 (鳥取県消防防災航空センター)
- DP2-4** 消防防災ヘリに搭乗する救急救命士の役割と責任を明確に！
▶ 竹内 賢司 (鳥取県消防防災航空センター)
- DP2-5** 陸上自衛隊とのヘリコプター離着陸協定と訓練について
▶ 大場 将玄 (旭川赤十字病院)

第2日目 (11月4日 (土))

第1会場 (釧路市観光国際交流センター 大ホール)

8:30~9:00

総会

9:00~9:05

会長挨拶

9:10~9:30

第30回記念講演

座長 齋藤 孝次 (社会医療法人孝仁会 理事長)

「航空医療の現状と課題」

▶猪口 貞樹 (一般社団法人 日本航空医療学会 理事長)

9:30~10:00

第30回記念講演

座長 北村 伸哉 (君津中央病院)

「第8次医療計画をふまえたドクターヘリの展望」

▶藤井健一郎 (厚生労働省 医政局 地域医療計画課 災害等緊急時医療・周産期医療等対策室 救急医療対策専門官)

10:00~10:45

特別講演2

座長 其田 一 (市立釧路総合病院)

「希少野生動物救護の最前線から、より良い共生社会を考える」

▶齊藤 慶輔 (猛禽類医学研究所 代表)

第2日目 (11月4日(土))

第1会場 (釧路市観光国際交流センター 大ホール)

10:50 ~ 12:20

／ パネルディスカッション／ 災害時における航空機の運用と救急医療との連携について

座長 早川 達也 (聖隷三方原病院)
米盛 輝武 (浦添総合病院)

PD-講演 北海道の搬送 (消防・防災ヘリ・自衛隊との連携)

▶ 浅井 康文 (雄心会函館新都市病院、札幌医科大学救急医学講座)

PD-1 災害時における航空機の運用と救急医療との連携について

▶ 酒瀬川友博 (警察庁長官官房)

PD-2 災害時における航空機の運用と救急医療との連携について

▶ 神谷 高仁 (第一管区海上保安本部 釧路航空基地)

PD-3 静岡県における浜松市を会場とした総合防災訓練で学んだこと

▶ 小久江賢一 (浜松市消防局警防課)

PD-4 北海道における消防防災ヘリコプターの重要性について

▶ 吉岡 保 (釧路市消防本部)

PD-5 災害時における航空機の運用と救急医療との連携について

▶ 下田 大輔 (北海道防災航空隊)

PD-6

▶ 陸上自衛隊北部方面隊

12:25 ~ 12:30

／ 閉会式

14:00 ~ 15:30

／ 市民講演会

「空飛ぶ救命救急室～ドクターヘリの現場～」

第2日目 (11月4日(土))

第2会場 (ANA クラウンプラザホテル 2階 芙蓉の間)

9:50~10:50

一般演題7 / 連携：地域

座長 大友 元 (旭川赤十字病院 救急科)

07-1 航空医療における「地域」「機関」を超えた連携の課題

▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

07-2 ヘリ墜落事故という最悪な事態へ医療が対応するために

▶町田 浩志 (国立病院機構高崎総合医療センター)

07-3 当地域で発生したスキージャンプ外傷 12 例の検討

▶河地 祥平 (上川北部消防事務組合)

07-4 ドクターヘリ 2 機で対応した静岡県観光バス横転事故報告

▶大坂 裕通 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

07-5 十勝地域の全救急搬送から考える十勝ドクターヘリ需要の検討

▶加藤 航平 (帯広厚生病院 救急科)

07-6 神奈川、伊豆半島の減圧症に対するドクターヘリ活動について

▶辻 友篤 (東海大学医学部救命救急医学)

11:00~11:40

一般演題10 / 疾患：成人

座長 武山 佳洋 (市立函館病院 救命救急センター)

010-1 地域病院での検査が有用？迅速搬送が良い？ 搬送運用を考える

▶邑田 悟 (岩手県立中部病院)

010-2 道東地区でのドクターヘリ搬送患者に対する血栓回収療法の現状

▶山内 崇弘 (釧路孝仁会記念病院)

010-3 アナフィラキシーに対し出動した君津 Dr.Heli の効果に関する検証

▶濱本 健作 (国保直営総合病院 君津中央病院)

010-4 コロナ禍で脳卒中における病院前救急診療はどのように変化したか

▶小橋 大輔 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

第2日目 (11月4日(土))

第3会場 (ANA クラウンプラザホテル 3階 万葉の間)

9:50 ~ 10:50

一般演題 8 / 疾患：産科・周産期・小児

座長 岡本 博之 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

- 08-1 工事規制中の高速道で起きた交通事故におけるドクターヘリ活動
▶ 宮島 衛 (長岡赤十字病院)
- 08-2 福岡県ドクターヘリにおける周産期症例への取り組み
▶ 金苗 幹典 (久留米大学病院 高度救命救急センター)
- 08-3 小児搬送時におけるフライトナースの看護実践の困難感
▶ 目移 克明 (医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 看護部 救命救急センター)
- 08-4 病院前診療における助産記録の作成～情報収集の標準化を目指して～
▶ 田村千佳子 (前橋赤十字病院 看護部)
- 08-5 メディカルウイングと救急車搬送の振動、バイタルサインの比較
▶ 中村 秀勝 (北海道立子ども総合医療・療育センター)
- 08-6 墜落分娩における当病院の取り組み
▶ 小長谷真輝 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

11:00 ~ 11:40

一般演題 11 / 運行管理・安全管理

座長 安部 哲夫 (中日本航空 運航管理部)

- 011-1 COVID-19 が愛媛県ドクターヘリの活動時間に及ぼした影響
▶ 田中 光一 (愛媛県立中央病院 高度救命救急センター 救急科)
- 011-2 ドクターヘリ搬送における機内環境の調査
▶ 金田浩太郎 (山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター)
- 011-3 ドクターヘリ搭載資機材の見直し ～目標 30kg 軽量化～
▶ 大村 健史 (徳島県立中央病院 救急外科・外傷センター)
- 011-4 119 番通報時緊急度判定プロトコルは覚知時要請に寄与するか
▶ 説田 守道 (日本赤十字社 伊勢赤十字病院)

第2日目 (11月4日(土))

第4会場 (ANA クラウンプラザホテル 3階 万葉の間)

9:50 ~ 10:50

一般演題9 / 現場活動：医療

座長 宮下 龍 (帯広厚生病院 麻酔科)

09-1 ドクターヘリにおける現場 MTP 発動の判断

▶平埜 貴久 (埼玉医科大学 総合医療センター 高度救命救急センター)

09-2 ドクターヘリ接触時のバイタルサインに基づく状態予測モデル開発

▶川井 廉之 (奈良県立医科大学 高度救命救急センター)

09-3 DH 病院内 E-CPR と V3 病院前 E-CPR では ECMO 確立はどちらが早いのか?

▶近藤 英史 (八戸市立市民病院救命救急センター)

09-4 ドクターヘリ活動における市中病院の役割

▶森 涼子 (社会医療法人恵愛会 大分中村病院)

09-5 遠洋海域に出動した洋上救急 100 例の症例検討

▶杉田真理子 (東海大学医学部 総合診療学系 救急医学講座)

09-6 島嶼エリアの航空医療における固定翼機導入の必要性和課題

▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

11:00 ~ 11:40

一般演題12 / フライトナース

座長 安部まり子 (釧路孝仁会記念病院)

012-1 フライトナースの勤務体制—他部署、他施設との兼務の効果—

▶金谷 美希 (獨協医科大学病院)

012-2 当院救命センターにおけるフライトナース志願の阻害要因について

▶木崎 愛 (独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター)

012-3 フライトナースに対する意識調査から得た今後の課題

▶高橋麻由子 (旭川赤十字病院)

012-4 フライトナース活動記録システム運用開始後 1 年の評価と課題

▶八木 誠 (市立函館病院 看護部)

第2日目 (11月4日(土))

デジタルポスター会場 (釧路市観光国際交流センター)

11:00 ~ 12:00

デジタルポスター発表 / 運行・搬送・安全・その他

進行役 伊藤 耕栄 (釧路孝仁会記念病院)
古川 研治 (釧路孝仁会記念病院)

-
- DP3-1** 離島医療に対する民間医療ヘリの運用の報告
▶朝沼 杏子 (米盛病院 救急科)
 - DP3-2** 石川県ドクターヘリ 5 年間の活動報告と有効活用のための改定
▶明星 康裕 (石川県立中央病院)
 - DP3-3** ヘリポート設置に伴う当院のドクターヘリ搬送症例の変化
▶鈴木 慶 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 救急科)
 - DP3-4** 広島県ドクターヘリ運航 10 年間の課題と展望
▶板井 純治 (広島大学大学院救急集中治療医学)
 - DP3-5** ドクターヘリとカーの同時要請が奏功した複数傷病者事案の一例
▶大滝 達也 (上川北部消防事務組合)
 - DP3-6** 小型ドローンでの血液輸送のための温度管理システムの検討
▶薬師寺恒紀 (横浜薬科大学)
 - DP3-7** 緯度経度から見た RP の運用状況：奈良県の検討
▶鶴田 啓亮 (奈良県立医科大学 救急医学教室)
 - DP3-8** 薄明時及び夜間におけるヘリコプターの活用
▶辻 康二 (株式会社フジアビエーションシステムズ)